

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）

## 地域の健康や福祉の向上を目指した地域保健事業や市民活動 におけるソーシャルキャピタルの活用に関する調査 (調査票)

### 本調査で対象とする事例

あなたが、職員（仕事）として主催したり、側面的に支援している「地域保健事業や市民活動」のうち、**ソーシャルキャピタルを活かして地域の健康や福祉の向上に役立っていると思う「地域保健事業や市民活動」**の事例を回答して下さい。

具体的な例として、以下の ~ のような事業・活動が考えられます。

健康づくりや母子などの各種保健活動を進める事業・活動

各種介護予防事業、子育て教室など

援助が必要な人を支援する事業・活動

家族介護者・認知症家族支援、難病家族支援、障害児・者支援、

高齢者見守り支援など

住民同士の関係性や支え合いを醸成する事業・活動

高齢者ふれあい活動、育児サークル、世代間交流活動など

### 事例をご記入いただくにあたって

- ◆ あなたが担当されている地区で実施されている事業・活動について、上記 ~ の例を参考に、3つの事業・活動をご推薦（ご記入）ください。
- ◆ 事業・活動の詳細が分からない、判断がつきにくい場合もあるかと思いますが、あなたの主観的な判断や印象で結構です。

### 調査における倫理的配慮

調査実施にあたりまして、以下のことを厳守いたします。

- ◆ 知り得たデータは、本研究目的以外で使用することはありません。
- ◆ 研究へのご参加は自由意思です。研究にご協力いただけなかった場合でも、不利益になるようなことは一切ありません。
- ◆ 結果の公表は、統計的に処理し、回答者個人や、地域・地区名を特定することはありません。
- ◆ 調査票の返送をもって研究協力への同意があったものとさせていただきます。

### ご記入上の注意点

- ◆ アンケートは7ページまであります。可能な限り最後までご記入ください。
- ◆ ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒にて、**10月28日までに**投函していただきますようお願いします。

### 【お問い合わせ先】

東京都健康長寿医療センター研究所(東京都老人総合研究所)社会参加と地域保健研究チーム

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2 Tel. 03-3964-3241(内線 4254)

担当：倉岡 正高、長谷部 雅美、李 暎娥(イ ギョンア)、村山 幸子

問1. あなたがご担当されている地区を、以下の地域包括支援センター(多くは地域ケアプラザに併設されています)の名前からお選び下さい。複数の地区をご担当されている場合は、あてはまるものすべてにをつけて下さい(その地区の一部分のみを担当している場合も をつけて下さい)。

1. 潮田	2. 矢向	3. 寺尾	4. 東寺尾	5. 駒岡
6. 鶴見市場	7. やまゆりホーム	8. 鶴見中央	9. 生麦	10.その他( )

地区割りがわからない場合は、最終ページに参考までに地区割りの概要を記載してあります。

問2. あなたが担当されている地区で実施されている「地域保健事業や市民活動」のうち、**ソーシャルキャピタルを活かして地域の健康や福祉の向上に役立っていると思う「地域保健事業や市民活動」**3つの事例について、**該当地域・各事業・活動の名称**とおおまかな**概要**をご記入ください。事業・活動の詳細が分からない、判断がつきにくい場合もあるかと思いますが、あなたの主観的な判断や印象で結構です。

例	該当地域	1. 2. 3. 4.
	名 称	はつらつ公園体操
	概 要	区 町の 公園に高齢者が集まり、毎週火曜日の朝、健康体操をしている。体操ボランティアが参加者同士の交流を促している。
事例 1	該当地域	1. 潮田 2. 矢向 3. 寺尾 4. 東寺尾 5. 駒岡 6. 鶴見市場 7. やまゆりホーム 8. 鶴見中央 9. 生麦 10.その他( )
	名 称	
	概 要	
事例 2	該当地域	1. 潮田 2. 矢向 3. 寺尾 4. 東寺尾 5. 駒岡 6. 鶴見市場 7. やまゆりホーム 8. 鶴見中央 9. 生麦 10.その他( )
	名 称	
	概 要	
事例 3	該当地域	1. 潮田 2. 矢向 3. 寺尾 4. 東寺尾 5. 駒岡 6. 鶴見市場 7. やまゆりホーム 8. 鶴見中央 9. 生麦 10.その他( )
	名 称	
	概 要	

問3. 問2でお答え頂いたそれぞれの事業・活動にあなたが関わって何年くらいになりますか。以下の選択肢のうち1つに          をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
1 年未満	1	1	1
1 年以上 3 年未満	2	2	2
3 年以上 5 年未満	3	3	3
5 年以上 10 年未満	4	4	4
10 年以上	5	5	5

問4. それぞれの事業・活動のおおよその活動継続年数はどの位でしょうか。以下の選択肢のうち1つに          をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
1 年未満	1	1	1
1 年以上 3 年未満	2	2	2
3 年以上 5 年未満	3	3	3
5 年以上 10 年未満	4	4	4
10 年以上	5	5	5
わからない	6	6	6

問5. それぞれの事業・活動が行われている場所はおおよそ何箇所ぐらいありますか。以下の選択肢のうち1つに          をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
1 箇所	1	1	1
2 ~ 4 箇所	2	2	2
5 箇所以上	3	3	3
わからない	4	4	4

問6. それぞれの事業・活動について、主な活動地域の範囲を教えてください。以下の選択肢のうち1つに          をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
だいたい町内会くらいの範囲	1	1	1
だいたい小学校区くらいの範囲 (わからない場合は連合町内会程度を目安に)	2	2	2
だいたい中学校区くらいの範囲 (同じく、地域包括支援センターエリアを目安に)	3	3	3
区内全域	4	4	4
わからない	5	5	5

問7. それぞれの事業・活動の**実施や運営を行う人**はどのような年齢層で構成されていますか。該当する年齢層全てに       をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
中学生以下の子ども	1	1	1
高校生・大学生など	2	2	2
20代～30代	3	3	3
40代～60代	4	4	4
70代以上	5	5	5
わからない	6	6	6

問8. この2～3年で、それぞれの事業・活動の**実施や運営を行う人**の数は増えていると思いますか。以下の選択肢のうち1つに       をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例 1	事例 2	事例 3
増えていると思う	1	1	1
変わらないと思う	2	2	2
減っていると思う	3	3	3
わからない	4	4	4

問9. それぞれの事業・活動の**実施や運営を行う人**は、その活動以外でもつながっていると思いますか。以下の選択肢のうち1つに       をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
多くのメンバーがつながっていると思う	1	1	1
半分位のメンバーがつながっていると思う	2	2	2
少数のメンバーがつながっていると思う	3	3	3
つながっていないと思う	4	4	4
わからない	5	5	5

問10. それぞれの事業・活動は次のような地域資源（地域住民や商店街、住民ボランティア等）を活用していますか。事業・活動の実施や運営を行う人以外に、**事業・活動に協力したり支援したりして事業・活動に関わっている人・団体**全てに                      をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
一般住民や住民ボランティア	1	1	1
自治会・町内会・連合自治会等	2	2	2
民生委員児童委員協議会	3	3	3
学校・幼稚園・保育園など	4	4	4
地元商店街・地元企業	5	5	5
福祉サービスの事業者や施設・医療機関	6	6	6
自治体	7	7	7
特になし	8	8	8
その他（                    ）	9	9	9
わからない	10	10	10

問11. この2～3年で、事業・活動の実施や運営を行う人以外に、**事業・活動に協力したり支援したりして事業・活動に関わっている人・団体**の数は増えていると思いますか。以下の選択肢のうち 1つに                     をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例 1	事例 2	事例 3
増えていると思う	1	1	1
変わらないと思う	2	2	2
減っていると思う	3	3	3
わからない	4	4	4

問12. この2～3年で、それぞれの事業・活動への**参加者**の数は増えていると思いますか。以下の選択肢のうち 1つに                     をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例 1	事例 2	事例 3
増えていると思う	1	1	1
変わらないと思う	2	2	2
減っていると思う	3	3	3
わからない	4	4	4

問13. この2～3年で、それぞれの事業・活動への参加者以外の地域住民から、それぞれの事業・活動は良い事業・活動だと認知されてきたと思いますか。以下の選択肢のうち1つに      をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例 1	事例 2	事例 3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問14. この2～3年で、それぞれの事業・活動によって、参加者であるか否かを問わず、その地域の住民同士の信頼や「お互いさま意識」は増したと思いますか。以下の選択肢のうち1つに      をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例 1	事例 2	事例 3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問15. この2～3年で、それぞれの事業・活動によって、参加者であるか否かを問わず、その地域の住民の健康や福祉に対する意識は高まったと思いますか。以下の選択肢のうち1つに      をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例 1	事例 2	事例 3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問16. それぞれの事業・活動は、その地域のソーシャルキャピタルの発展に貢献していると思いますか。

「**ソーシャルキャピタル**」とは、組織や地域社会における「信頼」「互酬性の規範」「ネットワーク」「ご近所の底力」などによる連帯感・まとまり・問題解決力とされています。

	事例 1	事例 2	事例 3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問17. その事業・活動が地域の健康や福祉の向上に役立っている点もしくは理由をご記入ください。

事例 1

--

事例 2

--

事例 3

--

問18. あなたが担当されている地域における(問1と同じ)「社会・人間関係の豊かさ」と「活動への協力や反応」について、それぞれ5段階でをつけて下さい。

地域包括支援センターエリア (担当地区全てに )	社会・人間関係の豊かさ (地域内の「つながり」「まとまり」、助け合いの雰囲気等)					醸成していき く必要性を感じ る	活動への協力や反応 (新しい事業・取組みに対する反応、積極性、協調性等)					理解や協力が得 やす いと感 じる	
	十	5	4	3	2		1	理	5	4	3		2
1. 潮田													
2. 矢向													
3. 寺尾													
4. 東寺尾													
5. 駒岡													
6. 鶴見市場													
7. やまゆりホーム													
8. 鶴見中央													
9. 生麦													
10. その他 ( )													

参考:地域包括支援センター地区割り (丁目以下の細かな割り振りは省略)	
潮田	潮田町、仲通、下野谷町、本町通、栄町通 1~2 丁目、向井町、大東町、朝日町、浜町、安善町、汐入町、小野町、未広町、寛政町、弁天町、扇島
矢向	矢向 1~6 丁目、江ヶ崎町
寺尾	東寺尾 6 丁目、北寺尾 1~2 丁目、東寺尾中台の一部、東寺尾北台、馬場 4~6 丁目、東寺尾東台、諏訪坂の一部、寺谷 1 丁目の一部、鶴見 1~2 丁目の一部
東寺尾	東寺尾 1~5 丁目、岸谷 1~3 丁目、4 丁目の一部、馬場 1~3・7 丁目
駒岡	駒岡 1~5 丁目、梶山 1~2 丁目、上末吉 1~5 丁目、下末吉 1~6 丁目、三ツ池公園
鶴見市場	市場東中町、市場西中町、市場下町、市場大和町、市場富士見町、菅沢町、平安町、栄町通 3~4 丁目、尻手 1~3 丁目、元宮 1~2 丁目、市場上町
鶴見中央	鶴見 1~2 丁目の一部、鶴見中央 1~5 丁目、豊岡町、佃野町、東寺尾中台の一部、諏訪坂の一部、寺谷 1 丁目の一部、寺谷 2 丁目
生麦	生麦 1~5 丁目、岸谷 4 丁目、鶴見中央 5 丁目の一部、大黒町、大黒ふ頭
やまゆりホーム	上の宮 1~2 丁目、北寺尾 3~7 丁目、獅子ヶ谷 1~3 丁目

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封した返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。

投函締切：10月28日



## 【インタビュー事前調査票】

以下の項目について、可能な範囲でご記入ください。

各項目に該当するお手持ちの資料（パンフレットや講演会の資料など）がございましたら、添付に代えてお送りください。

活動・事業の名称

活動組織の概要

活動の目的・  
期待される効果

参加対象者

参加者の年齢層

参加者の男女比

会費

運営の主体となる  
メンバー  
(人数、年齢層など)

協力団体等

活動頻度

例) 毎週水曜日 10:00~12:00

活動が複数ある場合は、活動別に記載してください。

活動場所(複数可)

発足時期

発足のいきさつ

必要経費, 運営財源

行政の継続支援の有無, 支援頻度, 支援担当者

その他, 何か補足情報があればご自由にお書きください。

ご協力いただき, ありがとうございます。

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）

## 「地域福祉保健事業」や「市民活動」における ソーシャルキャピタルの活用に関する調査 (調査票)

### 本調査で対象とする事例

あなたが所属されている地域ケアプラザで行われている「地域福祉保健事業や市民活動」のうち、ソーシャルキャピタルを活かして地域の福祉や健康の向上に役立っていると思う事例を回答して下さい。

「ソーシャルキャピタル」とは、組織や地域社会における「信頼」「お互い様意識」「ネットワーク」に基づく、ご近所の底力・連帯感・まとまり・問題解決力とされています。

具体的な例として、以下のような事業・活動が考えられます。

住民同士の関係性や支え合いを醸成する事業・活動

高齢者ふれあい活動、育児サークル、世代間交流活動など

援助が必要な人を支援する事業・活動

家族介護者・認知症家族支援、障害児・者支援、高齢者見守り支援など

健康づくりや母子などの各種保健活動を進める事業・活動

各種介護予防事業、子育て教室など

### 事例をご記入いただくにあたって

- ◆ 地域ケアプラザで行われている事業・活動について、上記 ~ の例を参考に、3つの事業・活動をご推薦（ご記入）ください。
- ◆ 事業・活動の詳細が分からない、判断がつきにくい場合もあるかと思いますが、あなたの主観的な判断や印象で結構です。

### 調査における倫理的配慮

調査実施にあたりまして、以下のことを厳守いたします。

- ◆ 知り得たデータは、本研究目的以外で使用することはありません。
- ◆ 研究へのご参加は自由意思です。研究にご協力いただけなかった場合でも、不利益になるようなことは一切ありません。
- ◆ 結果の公表に際しては、統計的に処理し、回答者個人及び地域ケアプラザを特定することはありません。
- ◆ 調査票の返送をもって研究協力への同意があったものとさせていただきます。

### ご記入上の注意点

- ◆ 調査票は6ページまであります。可能な限りすべての質問にご回答ください。
- ◆ ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて、**3月5日までに**投函してくださいようお願いします。

### 【お問い合わせ先】

東京都健康長寿医療センター研究所(東京都老人総合研究所)社会参加と地域保健研究チーム

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2 Tel. 03-3964-3241(内線 4254)

担当：倉岡正高、長谷部雅美、李暎娥(イギョンア)、村山幸子

問1. あなたは、この地域ケアプラザ（以下、プラザと表記）に所属して、どの位になりますか。数字でご記入ください。

この地域ケアプラザに所属して ( )年( )ヶ月
--------------------------

問2. このプラザで行われている「地域福祉保健事業や市民活動」のうち、ソーシャルキャピタルを活かして地域の福祉や健康の向上に役立っていると思う 3 つの事例について、名称・事業(活動)種別・活動概要をご記入ください。

事業・活動の詳細が分からない、判断がつきにくい場合もあるかと思いますが、あなたの主観的な判断や印象で結構です。

例	名称	わいわいサロン
	事業種別	① プラザ独自の事業・活動    2. 市民の事業・活動    3. 区の事業・活動
	概要	毎週水曜日の午前から午後にかけて、プラザで高齢者を対象とした食事会を実施している。住民ボランティアと高齢者とで、食事の準備から片付けまでを一緒に行う。高齢者の孤立予防と介護予防に貢献している。

事例 1	名称	
	事業種別	1. プラザ独自の事業・活動    2. 市民の事業・活動    3. 区の事業・活動
	概要	

事例 2	名称	
	事業種別	1. プラザ独自の事業・活動    2. 市民の事業・活動    3. 区の事業・活動
	概要	

事例 3	名称	
	事業種別	1. プラザ独自の事業・活動    2. 市民の事業・活動    3. 区の事業・活動
	概要	

問3. それぞれの事業・活動のおおよその活動継続年数はどの位でしょうか。以下の選択肢のうち1つに          をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
1 年未満	1	1	1
1 年以上 3 年未満	2	2	2
3 年以上 5 年未満	3	3	3
5 年以上 10 年未満	4	4	4
10 年以上	5	5	5
わからない	6	6	6

問4. それぞれの事業・活動が行われている場所は、このプラザを除いておおよそ何箇所くらいありますか。以下の選択肢のうち1つに          をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
プラザのみで活動	1	1	1
プラザ以外に 1 箇所	2	2	2
プラザ以外に 2 ~ 4 箇所	3	3	3
プラザ以外に 5 箇所以上	4	4	4
わからない	5	5	5

問5. それぞれの事業・活動の**実施や運営を行う人**はどのような年齢層で構成されていますか。該当する年齢層全てにをつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
中学生以下の子ども	1	1	1
高校生・大学生など	2	2	2
20 代 ~ 30 代	3	3	3
40 代 ~ 60 代	4	4	4
70 代以上	5	5	5
わからない	6	6	6



問9. この2～3年で、事業・活動の実施や運営を行う人以外で、事業・活動に協力や支援をするなど**事業・活動に関わっている人・団体**の数は増えていると思いますか。以下の選択肢のうち1つに      をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
増えていると思う	1	1	1
変わらないと思う	2	2	2
減っていると思う	3	3	3
わからない	4	4	4

問19. この2～3年で、それぞれの事業・活動への**参加者**の数は増えていると思いますか。以下の選択肢のうち1つに      をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
増えていると思う	1	1	1
変わらないと思う	2	2	2
減っていると思う	3	3	3
わからない	4	4	4

問10. この2～3年で、プラザ周辺の地域住民から、それぞれの事業・活動は良い事業・活動だと認知されてきたと思いますか。以下の選択肢のうち1つに      をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問11. この2～3年で、それぞれの事業・活動によって、プラザ周辺の地域住民同士の信頼や「お互いさま意識」は増したと思いますか。以下の選択肢のうち1つに      をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問12. この2～3年で、それぞれの事業・活動によって、プラザ周辺の地域住民の健康や福祉に対する意識は高まったと思いますか。以下の選択肢のうち1つに      をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問13. それぞれの事業・活動は、プラザ周辺の地域のソーシャルキャピタルの発展に貢献していると思いますか。

「**ソーシャルキャピタル**」とは、組織や地域社会における「信頼」「お互い様意識」「ネットワーク」に基づく、ご近所の底力・連帯感・まとまり・問題解決力とされています。

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5



問14. その事業・活動がプラザ周辺の地域の福祉や健康の向上に役立っていると考え  
ポイントもしくは理由をご記入ください。

事例 1

--

事例 2

--

事例 3

--

最後に、ご回答者様についてお尋ねします。

地域ケアプラザ名	
お 名 前	
職 種	1. 地域活動交流コーディネーター 2. その他 ( )

本調査でご推薦いただいた事業・活動の代表者の方に、活動の詳細を伺うために別途インタビュー調査を依頼させていただく場合がございます。その際は、上記のご回答者様にご連絡させていただきます。

**以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。**

ご記入いただきました調査票は、同封した返信用封筒に入れて、  
ポストに投函してください。  
投函締切：3月5日(水曜日)

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）

## 地域の健康や福祉の向上を目指した地域保健事業や市民活動におけるソーシャルキャピタルの活用に関する調査 （調査票）

### 本調査で対象とする事例

あなたが、職員（仕事）として主催したり、側面的に支援している「地域保健事業や市民活動」のうち、ソーシャルキャピタルを活かして地域の健康や福祉の向上に役立っていると思う「地域保健事業や市民活動」の事例を回答して下さい。

具体的な例として、以下の ~ のような事業・活動が考えられます。

健康づくりや母子などの各種保健活動を進める事業・活動

各種介護予防事業、子育て教室など

援助が必要な人を支援する事業・活動

家族介護者・認知症家族支援、難病家族支援、障害児・者支援、  
高齢者見守り支援など

住民同士の関係性や支え合いを醸成する事業・活動

高齢者ふれあい活動、育児サークル、世代間交流活動など

### 事例をご記入いただくにあたって

- ◆ あなたが担当されている地域（問 1 参照）で実施されている事業・活動について、上記 ~ の例を参考に、3つの事業・活動をご推薦（ご記入）ください。
- ◆ 事業・活動の詳細が分からない、判断がつきにくい場合もあるかと思いますが、あなたの主観的な判断や印象で結構です。

### その他の留意点

- ◆ 知り得たデータは、本研究目的以外で使用することはありません。
- ◆ 結果の公表は、統計的に処理し、回答者個人や地域を特定することはありません。
- ◆ 研究へのご参加は自由意思です。研究にご協力いただけなかった場合でも、不利益になるようなことは一切ありません。なお、調査票の返信をもって本調査に同意いただいたものとさせていただきます。
- ◆ アンケートは 6 ページまであります。可能な限りすべての質問項目にご記入ください。
- ◆ ご記入後の調査票は、同封の返信用封筒にて、10 月 30 日（水）までにご投函くださいますようお願いいたします。

### 【お問い合わせ先】

東京都健康長寿医療センター研究所（東京都老人総合研究所）  
社会参加と地域保健研究チーム

担当：村山 幸子、野中 久美子、倉岡 正高

住所：〒173-0015 板橋区栄町 35-2

電話：03-3964-3241（内線 4254）

問1. あなたがご担当されている地域を、以下の区分からお選び下さい。複数の地域をご担当されている場合は、あてはまるものすべてにをつけて下さい。

- |           |                |          |               |
|-----------|----------------|----------|---------------|
| 1. 浮間     | 2. 赤羽北・赤羽台・桐ヶ丘 | 3. 赤羽・志茂 | 4. 赤羽西・西が丘    |
| 5. 東十条・神谷 | 6. 十条・王子本町     | 7. 王子・豊島 | 8. 北区役所・滝野川   |
| 9. 堀船・昭和町 | 10. 西ヶ原・中里     | 11. 田端   | 12. 特定の担当区域なし |

問2. あなたの担当地域で実施されている「地域保健事業や市民活動」のうち、**ソーシャルキャピタルを活かして地域の健康や福祉の向上に役立っていると思う**3つの事業・活動について、該当地域、事業・活動の名称、おおまかな概要をそれぞれご記入ください。事業・活動の詳細が分からない、判断がつきにくい場合もあるかと思いますが、あなたの主観的な判断や印象で結構です。

問1で「12. 特定の担当区域なし」をご選択された場合には、関わりのある、もしくはご存知の事業・活動の中からご回答ください。

例	該当地域	1.      ②      3.      4.
	名 称	はつらつ公園体操
	概 要	町の      公園に高齢者が集まり、毎週火曜日の朝、健康体操をしている。体操ボランティアが参加者同士の交流を促している。

事例 1	該当地域	1. 浮間 2. 赤羽北・赤羽台・桐ヶ丘 3. 赤羽・志茂 4. 赤羽西・西が丘 5. 東十条・神谷 6. 十条・王子本町 7. 王子・豊島 8. 北区役所・滝野川 9. 堀船・昭和町 10. 西ヶ原・中里 11. 田端
	名 称	
	概 要	

事例 2	該当地域	1. 浮間 2. 赤羽北・赤羽台・桐ヶ丘 3. 赤羽・志茂 4. 赤羽西・西が丘 5. 東十条・神谷 6. 十条・王子本町 7. 王子・豊島 8. 北区役所・滝野川 9. 堀船・昭和町 10. 西ヶ原・中里 11. 田端
	名 称	
	概 要	

事例 3	該当地域	1. 浮間 2. 赤羽北・赤羽台・桐ヶ丘 3. 赤羽・志茂 4. 赤羽西・西が丘 5. 東十条・神谷 6. 十条・王子本町 7. 王子・豊島 8. 北区役所・滝野川 9. 堀船・昭和町 10. 西ヶ原・中里 11. 田端
	名 称	
	概 要	

問3. 問2でお答え頂いたそれぞれの事業・活動にあなたが関わって何年くらいになりますか。以下の選択肢のうち1つに          をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
1 年未満	1	1	1
1 年以上 3 年未満	2	2	2
3 年以上 5 年未満	3	3	3
5 年以上 10 年未満	4	4	4
10 年以上	5	5	5

問4. それぞれの事業・活動のおおよその活動継続年数はどの位でしょうか。以下の選択肢のうち1つに          をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
1 年未満	1	1	1
1 年以上 3 年未満	2	2	2
3 年以上 5 年未満	3	3	3
5 年以上 10 年未満	4	4	4
10 年以上	5	5	5
わからない	6	6	6

問5. それぞれの事業・活動が行われている場所はおおよそ何箇所くらいありますか。以下の選択肢のうち1つに          をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
1 箇所	1	1	1
2 ~ 4 箇所	2	2	2
5 箇所以上	3	3	3
わからない	4	4	4

問6. それぞれの事業・活動について、主な活動地域の範囲を教えてください。以下の選択肢のうち1つに          をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
だいたい自治会・町会位の範囲	1	1	1
だいたい小学校区位の範囲	2	2	2
だいたい中学校区位の範囲	3	3	3
市内全域	4	4	4
わからない	5	5	5

**問7以降で使われる用語は次のように定義します。**

**メンバーとは...**

事業・活動の実施や運営にあたって、中核的な役割を担う方々（構成員）

**関わっている人・団体とは...**

メンバー以外で、事業・活動に協力したり支援したりする人・団体

**参加者とは...**

以外で事業・活動に参加する地域住民の方々

問7. それぞれの事業・活動の**メンバー**（事業・活動の実施・運営を行う人）はどのような年齢層で構成されていますか。該当する年齢層すべてにをつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
中学生以下の子ども	1	1	1
高校生・大学生など	2	2	2
20代～30代	3	3	3
40代～60代	4	4	4
70代以上	5	5	5
わからない	6	6	6

問8. この2～3年で、それぞれの事業・活動の**メンバー**の数は増えていると思いますか。以下の選択肢のうち1つにをつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例 1	事例 2	事例 3
増えていると思う	1	1	1
変わらないと思う	2	2	2
減っていると思う	3	3	3
わからない	4	4	4

問9. それぞれの事業・活動の**メンバー**は、その活動以外でもつながっていると思いますか。以下の選択肢のうち1つにをつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
多くのメンバーがつながっていると思う	1	1	1
半分位のメンバーがつながっていると思う	2	2	2
少数のメンバーがつながっていると思う	3	3	3
つながっていないと思う	4	4	4
わからない	5	5	5



問13. この2～3年で、**参加者**以外の地域住民から、それぞれの事業・活動は良い事業・活動だと認知されてきたと思いますか。以下の選択肢のうち1つに      をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問14. この2～3年で、それぞれの事業・活動によって、その地域の住民（参加者が否かに関わらず）同士の信頼や「お互いさま意識」は増したと思いますか。以下の選択肢のうち1つに      をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問15. この2～3年で、それぞれの事業・活動によって、その地域の住民（参加者が否かに関わらず）の健康や福祉に対する意識は高まったと思いますか。以下の選択肢のうち1つに      をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5



問16. それぞれの事業・活動は、その地域のソーシャルキャピタルの発展に貢献していると思いますか。

「ソーシャルキャピタル」とは、組織や地域社会における「信頼」「互酬性の規範」「ネットワーク」「ご近所の底力」などによる連帯感・まとまり・問題解決力とされています

	事例 1	事例 2	事例 3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問17. その事業・活動が地域の健康や福祉の向上に役立っている点もしくは理由をご記入ください。

事例 1

--

事例 2

--

事例 3

--

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、返信用封筒に入れてご投函ください。

投函締切：10月30日（水）

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）

## 地域の健康や福祉の向上を目指した地域保健事業や市民活動におけるソーシャルキャピタルの活用に関する調査 （調査票）

### 本調査で対象とする事例

あなたが、職員（仕事）として主催したり、側面的に支援している「地域保健事業や市民活動」のうち、ソーシャルキャピタルを活かして地域の健康や福祉の向上に役立っていると思う「地域保健事業や市民活動」の事例を回答して下さい。

具体的な例として、以下の ～ のような事業・活動が考えられます。

健康づくりや母子などの各種保健活動を進める事業・活動  
各種介護予防事業、子育て教室など  
援助が必要な人を支援する事業・活動  
家族介護者・認知症家族支援、難病家族支援、障害児・者支援、  
高齢者見守り支援など  
住民同士の関係性や支え合いを醸成する事業・活動  
高齢者ふれあい活動、育児サークル、世代間交流活動など

### 事例をご記入いただくにあたって

- ◆ あなたが担当されている地域（問 1 参照）で実施されている事業・活動について、上記 ～ の例を参考に、3 つの事業・活動をご推薦（ご記入）ください。
- ◆ 事業・活動の詳細が分からない、判断がつきにくい場合もあるかと思いますが、あなたの主観的な判断や印象で結構です。

### その他の留意点

- ◆ 知り得たデータは、本研究目的以外で使用することはありません。
- ◆ 結果の公表は、統計的に処理し、回答者個人や地域を特定することはありません。
- ◆ 研究へのご参加は自由意思です。研究にご協力いただけなかった場合でも、不利益になるようなことは一切ありません。なお、調査票の返信をもって本調査に同意いただいたものとさせていただきます。
- ◆ アンケートは 6 ページまであります。可能な限りすべての質問項目にご記入ください。
- ◆ ご記入後の調査票は、同封の返信用封筒にて、10 月 30 日（水）までにご投函くださいますようお願いいたします。

### 【お問い合わせ先】

東京都健康長寿医療センター研究所（東京都老人総合研究所）  
社会参加と地域保健研究チーム  
担当：長谷部 雅美、李 暎娥(イギョンア)、村山 幸子  
住所：〒173-0015 板橋区栄町 35-2  
電話：03-3964-3241（内線 4254）

問1. あなたがご担当されている地域を、以下の地域包括支援センターの名前からお選び下さい。  
 複数の地域をご担当されている場合は、あてはまるものすべてにをつけて下さい。

1. 西部	2. 東部	3. 多摩センター	4. 中部
5. 北部	6. 南部	7. その他 ( )	

問2. あなたの担当地域で実施されている「地域保健事業や市民活動」のうち、**ソーシャルキャピタルを活かして地域の健康や福祉の向上に役立っていると思う**3つの事業・活動について、該当地域、事業・活動の名称、おおまかな概要をそれぞれご記入ください。事業・活動の詳細が分からない、判断が付きにくい場合もあるかと思いますが、あなたの主観的な判断や印象で結構です。

例	該当地域	1.      2. <input checked="" type="radio"/> 3.      4.
	名 称	はつらつ公園体操
	概 要	町の 公園に高齢者が集まり、毎週火曜日の朝、健康体操をしている。体操ボランティアが参加者同士の交流を促している。

事例 1	該当地域	1. 西部    2. 東部    3. 多摩センター    4. 中部 5. 北部    6. 南部    7. その他 ( )
	名 称	
	概 要	

事例 2	該当地域	1. 西部    2. 東部    3. 多摩センター    4. 中部 5. 北部    6. 南部    7. その他 ( )
	名 称	
	概 要	

事例 3	該当地域	1. 西部    2. 東部    3. 多摩センター    4. 中部 5. 北部    6. 南部    7. その他 ( )
	名 称	
	概 要	

問3. 問2でお答え頂いたそれぞれの事業・活動にあなたが関わって何年くらいになりますか。以下の選択肢のうち1つに          をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
1 年未満	1	1	1
1 年以上 3 年未満	2	2	2
3 年以上 5 年未満	3	3	3
5 年以上 10 年未満	4	4	4
10 年以上	5	5	5

問4. それぞれの事業・活動のおおよその活動継続年数はどの位でしょうか。以下の選択肢のうち1つに          をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
1 年未満	1	1	1
1 年以上 3 年未満	2	2	2
3 年以上 5 年未満	3	3	3
5 年以上 10 年未満	4	4	4
10 年以上	5	5	5
わからない	6	6	6

問5. それぞれの事業・活動が行われている場所はおおよそ何箇所くらいありますか。以下の選択肢のうち1つに          をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
1 箇所	1	1	1
2 ~ 4 箇所	2	2	2
5 箇所以上	3	3	3
わからない	4	4	4

問6. それぞれの事業・活動について、主な活動地域の範囲を教えてください。以下の選択肢のうち1つに          をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
だいたい自治会・町会位の範囲	1	1	1
だいたい小学校区位の範囲	2	2	2
だいたい中学校区位の範囲	3	3	3
市内全域	4	4	4
わからない	5	5	5

**問7以降で使われる用語は次のように定義します。**

**メンバーとは...**

事業・活動の実施や運営を行う人

**関わっている人・団体とは...**

メンバー以外で、事業・活動に協力したり支援したりする人・団体

**参加者とは...**

以外で、事業・活動に参加する地域住民

問7. それぞれの事業・活動の**メンバー**は、どのような年齢層で構成されていますか。  
該当する年齢層すべてに をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
中学生以下の子ども	1	1	1
高校生・大学生など	2	2	2
20代～30代	3	3	3
40代～60代	4	4	4
70代以上	5	5	5
わからない	6	6	6

問8. この2～3年で、それぞれの事業・活動の**メンバー**の数は増えていると思いますか。  
以下の選択肢のうち1つに をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、  
発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例 1	事例 2	事例 3
増えていると思う	1	1	1
変わらないと思う	2	2	2
減っていると思う	3	3	3
わからない	4	4	4

問9. それぞれの事業・活動の**メンバー**は、その活動以外でもつながっていると思いますか。  
以下の選択肢のうち1つに をつけてください。

	事例 1	事例 2	事例 3
多くのメンバーがつながっていると思う	1	1	1
半分位のメンバーがつながっていると思う	2	2	2
少数のメンバーがつながっていると思う	3	3	3
つながっていないと思う	4	4	4
わからない	5	5	5



問13. この2～3年で、**参加者**以外の地域住民から、それぞれの事業・活動は良い事業・活動だと認知されてきたと思いますか。以下の選択肢のうち1つに      をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問14. この2～3年で、それぞれの事業・活動によって、その地域の住民（参加者が否かに関わらず）同士の信頼や「お互いさま意識」は増したと思いますか。以下の選択肢のうち1つに      をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問15. この2～3年で、それぞれの事業・活動によって、その地域の住民（参加者が否かに関わらず）の健康や福祉に対する意識は高まったと思いますか。以下の選択肢のうち1つに      をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問16. それぞれの事業・活動は、その地域のソーシャルキャピタルの発展に貢献していると思いますか。

「ソーシャルキャピタル」とは、組織や地域社会における「信頼」「互酬性の規範」「ネットワーク」「ご近所の底力」などによる連帯感・まとまり・問題解決力とされています

	事例 1	事例 2	事例 3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問17. その事業・活動が地域の健康や福祉の向上に役立っている点もしくは理由をご記入ください。

事例 1

--

事例 2

--

事例 3

--

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、返信用封筒に入れてご投函ください。

投函締切：10月30日（水）



平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）

## 地域の健康や福祉の向上を目指した地域保健事業や市民活動におけるソーシャルキャピタルの活用に関する調査のお願い

東京都健康長寿医療センター研究所  
社会参加と地域保健研究チーム  
研究部長 藤原佳典

### 本調査の目的

- ◆ 本調査では、地域の健康や福祉の向上を目指した「地域保健事業や市民活動」の事例を収集し、その事業・活動および運営者・団体の状況とソーシャルキャピタルとの関連性を検証します。
- ◆ それにより、ソーシャルキャピタルが活用または醸成される事業・活動の特徴を明らかにし、地域の健康や福祉の向上を目指した地域保健事業や市民活動におけるソーシャルキャピタルの活用方法を提示することを目的としています。

「ソーシャルキャピタル」とは、組織や地域社会における「信頼」「互酬性の規範」「ネットワーク」「ご近所の底力」などによる連帯感・まとまり・問題解決力とされています。ソーシャルキャピタルが豊かな地域は、関係者間の信頼感・助け合い等に基づく絆や団結が強い地域であると考えられています。

また、厚生労働省による「地域保健対策の推進に関する基本的な指針（平成 24 年 7 月改正）」において、「ソーシャルキャピタルを活用した住民との協働により、地域保健基盤を構築し、地域住民の健康の保持及び増進並びに地域住民が安心して暮らせる地域社会の実現を目指した地域保健対策を総合的に推進することが必要である」とされています。

\* 本調査は、平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）「地域保健事業におけるソーシャルキャピタルの活用に関する研究」（研究代表者：藤原佳典）の一環で実施します。

### 調査結果の活用

- ◆ 地域保健・介護予防事業や市民活動に対し、ソーシャルキャピタルを活かした支援方法を提案します。
- ◆ 保健師等、地域住民の健康づくりを担う専門家や職員を支援する研修に役立てます。
- ◆ 地域の健康や福祉の向上に必要な制度や政策に役立てます。

## 本調査で対象とする事例

あなたが、介護予防推進交付金事業の助成課題において、ソーシャルキャピタルを活かして地域の健康や福祉の向上に役立っていると思う「地域保健・介護予防事業や市民活動」の事例を回答して下さい。

具体的な例として、以下の～のような事業・活動が考えられます。

健康づくりや母子などの各種保健活動を進める事業・活動

各種介護予防事業、子育て教室など

援助が必要な人を支援する事業・活動

家族介護者・認知症家族支援、難病家族支援、障害児・者支援、

高齢者見守り支援など

住民同士の関係性や支え合いを醸成する事業・活動

高齢者ふれあい活動、育児サークル、世代間交流活動など

## 事例をご記入いただくにあたって

- ◆ 事業・活動の詳細が分からない、判断がつきにくい場合もありますが、あなたの主観的な判断や印象で結構です。

## ご記入上の注意

- ◆ アンケートは1事業2ページです。事業の数だけご記入ください。

## 返送先・問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター研究所（東京都老人総合研究所）  
社会参加と地域保健研究チーム  
03-3964-3241 担当：深谷太郎（内線4258）  
藤原佳典（内線4257）



地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター  
東京都健康長寿医療センター 研究所  
（東京都老人総合研究所）

問1. **ご記入いただく事業・活動**（以下、「**その事業**」とします）の名称と大まかな活動の概要、地域の健康や福祉の向上に役立っていると考えるポイントもしくは理由をご記入ください。

名 称	
概 要	
ポイント	

問2. **その事業**のおおよその活動継続年数はどの位でしょうか。（ **は1つ**）

1. 一年未満	2. 一年以上三年未満	3. 三年以上五年未満
4. 五年以上十年未満	5. 十年以上	6. わからない

問3. **その事業**が行われている場所はおおよそ何箇所ぐらいありますか。（ **は1つ**）

1. 一箇所	2. 二～四箇所	3. 五箇所以上	4. わからない
--------	----------	----------	----------

問4. **その事業**について、主な活動地域の範囲を教えてください。（ **は1つ**）

1. だいたい町会内くらいの範囲	2. だいたい小学校区くらいの範囲	
3. だいたい中学校区くらいの範囲	4. それより広い市内	5. わからない

問5. **その事業の実施や運営を行う人（構成員）**はどのような年齢層で構成されていますか。該当する年齢層全てにをつけてください。

1. 中学生以下の子ども	2. 高校生・大学生など		
3. 20代～30代	4. 40代～60代	5. 70代以上	6. わからない

問6. この2～3年で、**その事業の実施や運営を行う人（構成員）**の数は増えていると思いますか。（ **は1つ**）

1. 増えていると思う	2. 変わらないと思う	3. 減っていると思う	4. わからない
-------------	-------------	-------------	----------

問7. **その事業の実施や運営を行う人（構成員）**は、その活動以外でもつながっていると思いますか。（ **は1つ**）

1. 多くのメンバーがつながっていると思う	2. 半分位のメンバーがつながっていると思う	
3. 少数のメンバーがつながっていると思う	4. つながっていないと思う	5. わからない



## ソーシャル・キャピタル2次調査 インタビューガイド 対象者：活動の中心となるメンバー（住民）

具体的な内容		備考
活動の立ち上げの経緯		
発足時期	活動が立ち上がってから、どれくらいの期間が経ちますか	活動継続年数を伺う。
発足のいきさつ	どのような経緯で活動が立ち上がりましたか	<住民>立ち上げ前の意識等。 <自治体>立ち上げ前把握していた住民のニーズ等。
	活動は容易に立ち上がり、開始されましたか 他地域と比較した場合、関係したと考えられる地域特性(文化・歴史・環境等)はありますか	もともと活動や取組が起こりやすい地域なのか。 例：地域の行事(祭り等)、「お互い様・助け合い(結)」などの地域の文化特性、習慣(公共の場に集う等)、コミュニティの発展の歴史等。
当時の課題と対応方法	活動を立ち上げ開始するにあたって、どのような困難がありましたか。	
	困難に対して、(当時)どのように対処しましたか。	
発足時のメンバー	発足時立ち上げを中心的に行ったメンバーの(おおよその)人数を教えてください。	
	発足時立ち上げを中心的に行ったメンバーの年齢層・男女比を教えてください。	
	発足時立ち上げを中心にいったメンバーは、もともと居住している地の人のみか、新たに居住した人も含まれていたか。メンバー同士の関係はできていたか。	中心となるメンバーの特性、メンバー間の関係性。
	立ち上げ・運営に関わろう、と気持ちをつなぎとめたもの、決定づけたものは何とおもいますか。	立ち上げ・運営に携わろうと考えた動機やつなぎとめたものについて。 何がこころを動かしたのかについて。
発足当初の活動	活動を立ち上げて間もない頃は、主にどのような活動をされていましたか。	活動内容、目的、頻度、範囲など。
活動の継続や発展(拡大)に向けて		
行政等との関係	行政の関連部署は立ち上げ前から活動が軌道に乗り発展するまで、どのような支援をどの程度行ってきましたか。	
活動の拡大・発展(変化)	発足時から最近までに、活動内容(イベントや事業・講座数、活動拠点等)メンバー 関与する個人や団体 参加者 にどのような変化がありましたか。(参加者数の増減、内容・質の変化、活動の発展等)	発足当時からの変移について、なぜそのような変化・発展したと考えるか。
活動の連携	地域の団体・組織(自治会、民生委員、他のグループ等)や行政等との連携をどのように図ってきたか。	困難はあったか、工夫があったか、なぜその団体・組織と連携を図ろうと考えたか、活動を立ち上げる前の、その団体・組織、行政との関係について。
	活動では、何か地域資源(地域住民や商店街、住民ボランティア等)を活用してきましたか。	活用は容易だったか(協力をすぐに得られたか)等。
互酬性	活動において、中心となるメンバーや団体・参加者等の関係に変化は起こりましたか、活動を通して、中心となるメンバーや団体・参加者等の中で、「互酬性」は醸成されたと思いますか。	活動関係者間の互酬性の状況(お互いに助け合っているか)(発足当時からの変化)。 発足当時と変化があった場合には、なぜそのような変化があったと思うか尋ねる。
	活動を実施することで、活動の中心となるメンバーと地域住民の相互(双方)にとって、どのような変化が	お互い様意識について、どのように変化したか、活動が地域に根付くために必要な要件を探る。
信頼	活動において、中心となるメンバーや団体・参加者等は、お互いに信頼し合っていますか、活動を通して、中心となるメンバーや団体・参加者等の中で、「信頼」は醸成されたと思いますか。	活動関係者間の信頼の状況(発足当時からの変化)。 発足当時と変化があった場合には、なぜそのような変化があったと思うか。
愛着	活動を通じて、中心となるメンバーや団体・参加者等は、活動および地域への「愛着」を感じていますか、活動を通じて、中心となるメンバーや団体・参加者等の中で、活動および地域への「愛着」は醸成されたと思いますか。	活動関係者間の愛着の状況(発足当時からの変化)。 発足当時と変化があった場合には、なぜそのような変化があったのかを尋ねる。
活動を行ううえでの課題と対応方法	活動を維持(発展)するにあたって、どのような困難がありましたか。	グループメンバー間、地域の人びととの、互酬性・信頼・愛着等の変化に伴い、困難(内容・程度)も変化したか、現在も同様の課題に直面しているか。
	それらの課題に対して、どのような対応・工夫をしましたか。	
活動の継続や発展のために必要な要件	何故、この地域でこの活動がうまくいっている(継続・発展している)と思いますか。	どんな要件(工夫)が必要だと思うか、例)地域特性(文化・歴史・慣習等)、活動の立ち上げの手順、行政の支援(内容、頻度、時期等)、キーパーソン等。
活動を実施したことによる効果		
地域における効果(地域の変化)	地域住民(参加者やそうでない人も含む)同士の「お互い様」の意識や、信頼は増したと思いますか。	
	地域住民(参加者やそうでない人も含む)の地域への関心や愛着が高まったと思いますか。	変化とは地域における人と人のつながりや愛着、地域や互いへの関心の変化など。
	地域全体に何か変化がもたらされたと思いますか。	具体的な変化について尋ねる。